



福祉生活協同組合

さんコープ news

NO. 142

さんコープは『住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい』という願いを地域社会の中で実現します。



～よいお年をお迎えください～

理事長 高木 直哉

寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて前号でご案内の通り、11月12日に「さんコープ創立20周年記念式典」を始め、「記念講演」など一連の記念行事をおこないました。例年この「さんコープニュース冬号」は年明けにお届けしていますが、その式典行事の様子やこの度制定したさんコープのロゴマークをできるだけ早くお知らせしようということで、今年に限り年内お届けとさせていただきます。記念行事の様子などは次頁以降に掲載していますのでお目通しいただき、さんコープ二十歳の誕生日を共に祝っていただければと思います。

創立20周年、ヒトに例えればようやく成人という歳月ですが、この20年を振り返るだけでも急速に進行した少子高齢化や人口減少、そしてこの社会構造の変化に対応するため、「施設から在宅へ」といった考え方に基づく地域包括ケアシステムの導入、そして3年ごとに実施されてきました介護報酬の改定など、福祉事業を取り巻く環境は大きく変化しました。これら変化の中、さんコープが堅実な成長を実現できたのは、組合員の皆さんを始め、行政・関係事業所のご支援・ご協力、そして何よりも『住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい』という組合員の願いに応える」という理念のもと、奮闘されてこられた先輩諸兄の努力の結果だと、記念式典は改めて感じる機会となりました。



しかし、今から先を考えると、日本は団塊の世代の方々が後期高齢者（75歳以上）となる2025年問題に象徴されるように、更に福祉や介護に対する要望は高まっていくと考えられます。さんコープも現状の到達点に甘んじることなく、これらの要望に応えられるよう、サービスエリアの拡大や、介護サービスの充実を図っていく必要がありますし、そのことにスピードを上げて取り組んでいかねばなりません。この度の20周年を一里塚と受け止め、なお一層組合員の皆さんの期待に応えていけるよう、役職員一丸となって取り組んで参りますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

またすでに前号で紹介させていただきました各施設のボランティア募集「さんコープ応援団」も、今回の記念行事に合わせてスタートさせました。生協は共助の組織、お互いに助け合いながら、暮らしをより良いものにしていくという組織です。どのような形でもお力を貸していただければと思いますし、またボランティア活動の輪が広がることで、さんコープ施設がそれぞれの地域のコミュニティーのひとつになればと願っています。施設の近くにお住まいの方、是非ともお力添えをお願いいたします。

もうすぐ今年も終わり、新年を迎えます。組合員の皆さんの来る年が素晴らしい一年になりますよう、祈念しています。

2019年11月12日、山口市で「さんコープ創立20周年記念行事」が開催され、多くの方々にお集まり頂きました。 20年間を振り返り、またこれからの活動へ期待と激励を頂戴し、役職員一同気持ちを新たにしたい一日でした。

I 創成期（1995年～2005年）

コープやまぐち内で、目前の高齢化社会における生協の役割についての論議開始。発起人会、準備総会を経て、1998年6月コープやまぐちの任意組織「高齢者協同組合さんコープ」設立。高齢者が自立可能な社会の実現を目指し、「生きがい」「助け合い」をキーワードに「助け合いサービス」「福祉グループ活動」をスタート。その後、1999年11月生協法人「福祉生活協同組合さんコープ」設立。介護保険事業への本格的な参入開始。



左：さんコープの歴史はワーカーさんの助け合いサービス活動から始まったのです。



右：福祉生活協同組合さんコープ創立総会。

II 成長期（2006年～2014年）



左：デイサービス河村邸での趣味活動の一つ、油絵教室。



右：2011年第1回利用者バス旅行の様子。現在も続いている楽しい企画です。

居宅介護支援、訪問介護に加え通所介護事業開始。また宇部有料老人ホーム事業、防府天神ロデイサービス事業の開始により、山口市・宇部市・防府市に福祉事業拠点を設置。一方、介護保険制度では「施設介護から在宅介護へ」の変更が打ち出される中、将来を見据えた中期事業計画の策定やコープやまぐちとの「福祉事業の提携に関する基本協定」を締結。

III 躍進期（2015年～）

コープやまぐちとの最初の提携事業として山口市湯田温泉に「コープここハウス湯田」「デイサービス湯田」を開設。

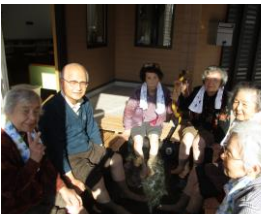
一方で「デイサービス河村邸」「防府居宅介護支援事業所」をそれぞれデイ湯田・山口居宅に統合する等の運営改革に着手。

2018年「長年の健全な事業運営は他の模範であり、地域貢献している団体」として厚生労働大臣表彰を受賞。

右：湯田福祉グループからここハウスへ記念樹の寄贈

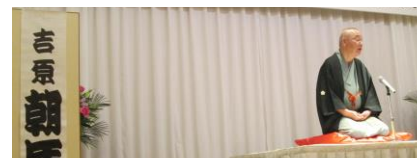


左：デイサービス湯田の足湯でみんなほっこり。



2019.11.12、多くの方々にご参加頂き、20周年記念行事を開催いたしました。

上：記念式典には、山口県・山口市はじめ関係団体、元理事さん等、多くの方々が出席下さいました。
下：記念講演では、約250人が落語家吉原朝馬師匠の妙技に魅了されました。



森本元理事長、吉崎前理事長等、さんコープの運営にご尽力頂いた5人の方々に感謝状がお送られました。



上：レセプションはコープやまぐち岡崎理事長の乾杯で和やかに始まりまして。
下：福祉グループ長さんによる「銭太鼓」披露には沢山の飛び入り参加もあり、会場は大盛り上がりでした。



IV 未来へ（2020年～）

これからの地域作りを目指して

さんコープ設立時からずっと掲げている『住み慣れた我が家で、地域で、安心して心豊かに暮らしたい』という組合員の願いに答えるという理念を具体化した新しい取り組み、それが…
「さんコープ応援団」です！

組合員・地域住民を問わず、さんコープ各介護施設のボランティアを募り、活動してもらうことで、さんコープの施設が「自分の生きがい作りの場」となり、それが「いきいきした地域作り」に繋がるコミュニティの場になる…そんな「地域の元気発信基地」を目指します！

詳しくは同封のチラシをご覧ください。
皆様のご応募お待ちしております！



「さんコープロゴマーク」を制定！

「あれ？どこかで見たぞ…」と思われた方もおられると思います。そうです！ロゴ部分をコープここハウス湯田と共通にし、ここハウスと合わせて露出度をあげ、多くの方に知って頂こうと考えました。

COOPの4文字を組み合わせ、幸せのシンボルとして知られる「四葉のクローバー」をイメージしました。繋がりが合うCOOPの文字は、組合員・役職員・地域社会・生協・行政・他団体等、様々な形で協同し合う姿を表し、また、葉の軸は「繋がりが合うことで自立する姿」を表しています。

新しいマークと共に引き続きよろしくお願ひいたします！



車両デザインも暫時刷新してまいります。これからはこのデザインの車両が山口・防府・宇部の街を疾走いたします！
ご期待ください！



さんコープ応援増資のお願い

さんコープでは、毎年1月から3月にかけて、組合員の皆様のご理解のもと出資金の増額にご参加頂く「増資活動」に取り組んでおり、昨年も多くの方々にご参加くださいました。ありがとうございました。お預かりした出資金はさんコープの活動の元手となり、様々な分野で活用させて頂いています。

さんコープの事業展開に一人でも多くの組合員に賛同いただき、増資活動に参加いただくことは、これからの長寿社会を支え合うことにつながります。今年も「さんコープが益々利用し易くなった」「さんコープを利用して良かった」と感じて頂けるよう、職員一同奮闘して参ります。是非、増資運動へのご理解とご協力をお願いいたします。

出資金とは？

出資金は、さんコープの活動や事業の元手となる、組合員さんからお預かりする大切なお金です。出資金が多ければ、さんコープの活動に幅やゆとりが生まれます。さんコープでは組合員の皆様のご理解を得て、毎年1月に出資金の増額を呼びかけています。

2019年の取り組みの一部をご報告いたします。

宇部有料老人ホーム 3階浴室



宇部事業所の特徴でもある畳敷きの大きなお風呂。入居者さん、デイサービス利用者さんに喜ばれているこの畳を敷き替えました。新しくなった畳で、皆様快適に入浴されています。



お風呂の畳の敷き替えに合わせて、手すりも設置しました。これで洗い場から浴槽までの移動も楽ちんになりました。

防府事務所は1階に天神口デイサービス、2階には訪問介護事業所があります。この度、2階のトイレを改装し、広くて明るい(?)トイレになりました。ありがとうございました。



同封の払込取扱票（郵便局）に口数、金額の他必要事項をご記入・ご捺印の上、最寄りの郵便局にてお振込みくださいませ。
入金確認後、お礼と併せて合計の出資金額をお知らせいたします。
一人でも多くの組合員さんのご参加をお待ちしています。